

1 施設概要

施設名	尼崎市立弥生ケ丘斎場／尼崎市墓園	施設所管課	保健局 生活衛生課
施設住所	尼崎市弥生ケ丘町1-1、弥生ケ丘町2-1	竣工	H15.11(満満21年)、S30(満満69年)他
設置目的	火葬に関する業務及び本市における墓地の公団化を図るため		
主な事業内容	各施設維持管理業務、火葬運搬業務、斎場広聴、墓園利用許可等、相談業務及び事務業務		
指定管理者名	大林ファシリティーズ・五輪グループ共同企業体	指定期間	自 R6.4.1 至 R11.3.31

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
故入とのお別れを厳粛な中で行えるよう利用者に寄り添い、人生の終焉の場にふさわしい管理運営を行う。
墓参者が快適に参拝できるように適切に維持管理を行う。また、使用者終焉の適正化に向けた事務を行う。

施設(斎場・墓園)の性質上、指標の設定は馴染まないため、各年度における指標の設定は行っていないが、各施設とも適切な維持管理運営に努めた。あわせて、斎場においては、安定かつ効率的な運営体制の確保や、火葬需要への対応として友引日の一部開場を行った。墓園においては、使用者資格の適正化に向けた事務を行った。

[illegible]

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
畜場の効率的な運営体制の確保とともに、来場者への接遇の向上に努める。
墓園管理においては、利用者の事情を丁寧に聞き取り、条例に基づき使用者資格の適正化に向けた取組を行う。

職員ミーティングを毎日実施し、来場者への接遇面を含めた現状と課題、留意事項等について職員間で共有しながら火葬業務に取り組んだ。また、墓園管理では、市と指定管理者双方が対応経過の情報を共有し取り組んだ。サービスは維持されているが、昨年度までと状況が異なることから施設ごみ処分費の当初予算に不足が生じたため、令和6年度2月議会において予算を増補修正した。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
設備を良好な状態に維持し、環境対策を継続して行うとともに、光熱費の削減に取り組む。
皇参事が快適な環境で参拝ができるよう、墓園内の美化事業を適切に実施する。

重大な設備故障を発生させず、排ガス等の環境対策を継続して行ったが、全国的な光熱費単価の増加により、電気・ガス代の当初予算に不足が生じたため、令和6年度2月議会において予算を増補正した。

専任の職員による草園圃の美化事業を適切に実施するとともに、そのノウハウの継承に努めた。

○高水塔で面立している、○面立している、○面立しているとはできない、×環境への配慮が不足している

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理科	188,650,687	211,194,748	22,544,061	人件費	91,525,500	91,525,500	0
				事業費	56,425,187	77,354,426	-20,929,239
				施設維持管理運営費	39,012,600	40,627,422	-1,614,822
				その他	1,687,400	1,687,400	0
収入計	188,650,687	211,194,748	22,544,061	支出計	188,650,687	211,194,748	-22,544,061

重視された事項	本市の火葬需要に対応した臨機応変な斎場運営、墓地使用資格の適正化に向けた取組
指定管理者自身が設定した目標	自社のノウハウを活用し、人生最後の別れの場としてふさわしいサービスの提供と、すべての利用者に満足いただける施設運営の実現

施設のありたい姿	利用者の心情に寄り添い、人生の終焉の場にふさわしい施設						
指標	施設(斎場・墓園)の性質上、指標の設定は馴染まないため未設定						
目標指標	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
目標値							
実績値							

施設の使用管理や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

取支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

適時の報告・連絡・相談を実施し、施設の共同管理者としての関係強化を図った。

定期的な協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有している。

斎場業務については、接遇技術の維持向上に努め、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を行うとともに、増加傾向にある火葬需要への対応として、友引日の一部開場の拡充を行った。墓園業務についても同様に、適正な管理運営に取り組んでいる。

斎場業務においては、引き続き人生最後の別れの場としてふさわしいサービスの提供と、すべての利用者に満足いただける施設運営の実現を目標に掲げ、自社のノウハウを活用し、品質を高めることができた。また同じく自社のノウハウを活用し、効率的な経費運用を実施することができた。

墓園業務においては、利用者の受付や相談に対し、親身になって対応することができた。今後とも年間使用料の収納率向上及び当初掲げた目標を実現維持することを重視し、日常運営を実施する。

指定期間の初期であるが、前受託者から事業を円滑に引き継ぎ、継続的なサービス提供を行った。
斎場業務においては、引き続き、利用者の心情に寄り添った接遇の維持向上や、経費面を含めた効率的な運営体制の継続を実施されたい。
墓園業務においては、墓園利用に関する各種届出の受付や相談について丁寧な対応に努めるとともに、効率的な事務処理を検討し、年間使用料の収納率向上へ取り組まれたい。

斎場と墓園の適正運営を継続して実施するため、双方が提案する課題等の事項について認識を共有し、施設の共同管理者としての関係強化を図りながら課題解決に向けた取組を行っていき。